

青い火

No. 36
40.2.1

発行所 世田谷区世田谷二ノ一〇三四
伊藤先生方 四三九・〇八六五
社会福祉事業団体
日本脳性マヒ者協会
青い芝の会
編集責任者 広報部
印刷 三誠社 三〇〇・八八〇九

重度者施設と脳性マヒ者

本会では社会活動開始以来、厚生当局等に對して再三に渡り、重度身体障害者収容施設を要求してきた。

厚生省通達によると、本年四月開所目標の四施設を皮切りに将来各県一つずつの身体障害者障害程度等級表一・二級クラスを対象とした公立重度障害者更生援護施設を設ける予定と云われる。

全国における重度者は約三十五万人をかぞえる。その数から見れば問題にならない収容能力である。とは云え国立でないにせよ福祉国家として一つの前進と思える。しかし下段に掲げた表でおわかりのように本年度開所予定の各施設の問題点は重度保護を唱いながら職員の数の少なさであり、五ヵ年を基準とする収容期間を定めていることである。

もやろん本会の要求する永久収容施設との違いと云えばそれまでなのだが、それにしても背預等と異なり、現在一二級の脳性マヒ者にとっては高額の花でしかあり得ない。

五ヵ年位の訓練で社会復帰の出来る脳性マ

ヒ者の重度がはたして何いるだろうか。

我々のような全身障害者はワルトラ重度者であって更生施設への入所対象ではないのかかも知れない。我々に對しては次の段階の収容施設であり、その厚生省推定約三千人に対しても四十五年までの消化を目標にしてきたことはある。しかしよくまでも我々の要求が無期限の収容施設であり、その実現まではあらゆる方法をこぎて要求をして行く確信である。現在のような民間のチャリティにおんぶしているお役所ではいっさい何の御協力をお願ひ致します。

此の度新劇「雲」の御好意により内 容をもつて行いますので、御後援の各位様始め会の皆さんの一層御協力をお願ひ致します。

劇 ロミオとジュリエット
出演者 芥川比呂志 西沢利明
伊藤幸子 仲谷 昇
高橋昌也

場所 サンケイホール
日時 四月十一日(水)六時半開演
料金 S=1,300円 B=400円
A=1,000円 C=400円

お友だちの中には年老いた母親が勤めより帰るまで寝たまゝでなければならぬ者のいることを忘れないでいたゞきたい。

「もうすっかり嫌になった」という言葉はチヤーチルだけで沢山なのだから……。

國立圖書館

昨年、國立身障センターでそれまでどんと
ん行なわれて来た重障者に対する手術が中止
された事に對して、更反会（エコノミー）

高山伊太郎氏を思ひで

大槻久子

思ふ。今の人々のことではなかつたかと思ふ、いつぞや、私も伊藤先生や、田中先生と一緒になつて、脳性マヒ者の生きる道を切り拓く

が主体となって手術再開とその中止の原因で、あるセンター業ム運営方針の改正を要求した運動が起り、本会もハギ陳情等で応援したのであったが、その後、センターの所長及び厚生省の担当官が「手術は再開する。」と業ム運営方針はすみやかに改正する」と声明した上で、その約束を信じて更友会ではその行動

止めていた。ところがそれから半年余たても、手術は細々と再開されはしたものゝ肝心の業ム運営方針は一向に改正される様がないため、更友会ではそれを早く改正することを要求して、再び大規模な行動を始めたことにしたとの事である。

それで本会では、この間の事情を詳しく知るため役員会に更友会の人へ来てもらつて話をしてもらうことになつて、提合によつては本会も応援の活動を始めることになるだらう。

ここで一寸私見を述べさせてもらつと、センタ一所長の云つている事は、理想の形としては結構だが、全ての身障者施設等が完備した時には可能だらうと思う。しかし、理想的がいくら良いと云つても、現実では、それでは現在困っている重障者は救えないのです。

さる一月十八日の御葬儀に参列してありし日、高山伊太郎氏を自分の父が亡くなった時と同じ思いで、深い悲しみを覚えながら、網子夫人、お姉様や久子さんに守られる棺をただ茫然としてお見送りした。私は一昨年初めてお目にかかり、四、五回お話を承っただけだが、自治会長としての長い御経験や、いろいろ御苦労を積み重ねられた中から、ますますエネルギーが発散されるようなお若いお姿に接していたので、新じた。

高山伊太郎 前会長高山久子さり本会親の会々長であります太郎氏は一月十五日に

聞で御葬儀を知りびっくりしたり私のうかつさに後悔で胸が一杯であつた。

氏の生前の御活躍をんで哀悼の意を表しま

高山さんのお父様の御逝去は、丁度、子供のような年代のわたしどもには、親としての深い御配慮を理解することは不可能かもしれない。然し、これからでもおそくはない。いろいろとかんがえておられたことを、夫人から伺つたり、又御足あとを聞かせて頂いて、前で進むための原動力としたい。

昭和四十年度本部役員

補者です。この中から皆さんの投票によつて六人の役員が選ばれ、その六人の互選で会長副会長、事務局長、会計、会計監査が決められるわけでして、誰が本部役員によいかをよく考へて同封のハガキで投票して下さい。

投票の仕方

同封のハガキに印刷してある候補者名の中で役員によいと思う人六名を〇で囲んで下さい。もし、他によいと思う人がいたら書き加え、その人とも六名にして下さい。

ハガキは二月一八日までに着くようにして下さい。

年に一度の「青い芝新年宴会」當田は心から、まつまつ例外ひよりと言えましょう。僕はいつも皆さんのお世話をしならなければ出席出来ない重慶者なので、なるべく脚本を申し上げている者ですが、この日は中村さん御骨折で、早い時間から参加させて戴き、本当に有難く思つて居ります。

出席者は五十名余、まつ司会、進行、演出の三つの係を一人で引き受けた活躍していただけた澤井さんの努力を充分認めなければならないと思います。たった二個のテープを使ってあれだけ楽しませてくれたゲーム、樂しく温

堅い話が入つてもいいのではないでしよう。つまり「青い芝」の会員の状態とか、会の計画の一部だと一般会員に知られていない「青い芝」の内部の活躍ぶりの一端を紹介する等、「青い芝」会員としての自覚をよび起すにも役立ち、たるんだ会場の空気を一寸縮めるにも効果があると思います。

一体、批判するという事は優しい事ですが、実際に行うということは難かしいものでそれだけに、役員諸兄のお骨折は、今更申し上げるまでもない事ですが、こういう催しには今後も出来るだけ、大勢の会員の参加が望まれます一方、思いを重複者の方迄に馳せて止まな

いのであります。

（会員を選んで）、本部役員（会長、副会長、事務局長、会計、会計監査）と各部々長（社会活動、組織統制、涉外調査、更生相談、文化教養、広報宣伝）とをこゝちやにして考えないようにして下さい。会員の皆さんに選んでいたところは、本部役員の方です。
部長には適していても会長等には適していない人や、その反対の人もいるわけですからその点よく考えて下さい。
尙、候補者氏名は本部役員、支部長合同会議で推選した者の他、地方支部推選者を含む。

く、散会の頃のバラバラな雰囲気は一寸悔いがしました。これは会場の広さと人數を考え合せると、話題があと二三人いた方がよかったのではないかと思った次第です。会を終つて考えさせられた事は一つは会の積極性です。ああいう会に参加した場合出来るだけ積極的に会を楽しもうといふ会の協力がほしいと思いまます。上手、下手は勿論問題外です。かえつて一生懸命にやりながら失敗する演技こそはほんましく、たのしいものではないでしょうか。

Digitized by srujanika@gmail.com

く続けることにし、次は施設の実状把握のため戸山更生館を見学することにする。以上の他、正式議題ではないが今年度活動方針の中何一つ満足に行なわれていないことが、事務局長より持ち出される。

○次期本部役員の改選方法について
前回十日の役員会で話し合われ一応案としてまとめてられた役員選出方法について報告説明の後、それについて討議する。

「全会員の投票にすると人気投票的になつて本当に役員として適した人が選ばれない恐がある。従つて前年通りで良いのではないのか」との意見が出たが、人気投票的になる恐れは、役員適格者を推選候補にしてその中から投票してもらうのだから、そういう心配はないといふ事で落ちつく。

城南支部例会案内

埼玉支部の新年会

山口 豊

寒さきびしい折柄、皆さん御元気ですか。
下記のように支部の例会を開きますので万
障御縁合わせの上御出席下さい。

日時

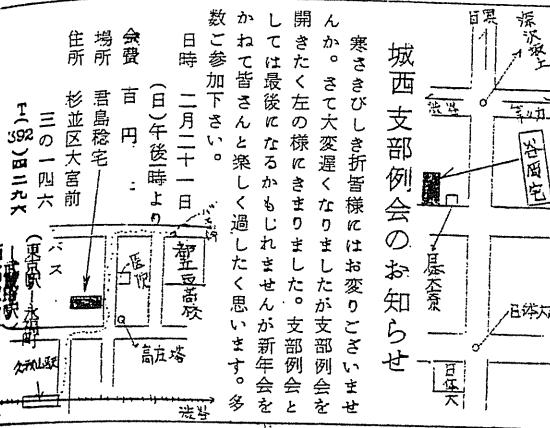
二月二十八日(日)午後一時より

場所 谷岡久さん宅(せ田谷深沢町三ノ九

バス(等々力一渋谷一東京駅

(渋谷→目黒→砧緑地帯下坂上深沢

会費 五十円



城西支部例会のお知らせ

寒さきびしき折皆様にはおめでたごいませ
んか。さて大変遅くなりましたが支部例会を
開きたく左の様にきました。支部例会と
しては最後になるかも知れませんが新年会を
かねて皆さんと楽しく過しく思っています。多
数ご参加下さい。

日時

二月二十一日(日)午後二時より

会場

杉並区大宮前

余費

吉田

住所

君島稔宅

(東京都杉並区大宮前二丁目四六番二号)

会場

高橋文助

下車

西高井戸駅

バス

等々力

渋谷

東京駅

目黒

砧

下坂上

深沢

川崎

大宮

西高井戸

駅前

大宮

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東

西

北

南

東